

日本 NPO 学会会則改正案について

・理事会議事録の電磁的方法による作成及び保存（学会会則第26条3項）

対面理事会の議事録は書面で作成し、議事録署名人が記名押印することとなっているが、これを、電子メール理事会と同様に、「電磁的方法によって作成・保存」する形式に変更する。なお、会員総会の議事録は、銀行口座作成等の各種手続き時に書面かつ記名押印による原本の提出が求められるケースがあるため、今回の検討対象には含まない。

改正前

3 理事会の議事については、議事録を作成し、議長及び理事会において選任された議事録書名人2名の合計3名が記名押印する。

改正後

3 理事会の議事については、**書面又は電磁的記録の方法（磁気ディスクその他これに準ずる方法により一定の情報を確実に記録しておくことができる物をもって調製するファイルに情報を記録したものをいう。）**により議事録を作成し、議長及び理事会において選任された**議事録確認者2名が内容を確認し、学会事務局が議事録を保存する。**

・除名の懲戒処分の要件（学会会則 第9条1項、同2項）

第9条1項に、「ただし、除名する場合は、理事会の決議に加え、総会において出席会員の3分の2以上の決議がなければならない。また、当該会員に対し、総会で決議する前に弁明の機会を与えなければならない。」との文言があるが、同様の文言が第9条2項にも存在している。

ただし、異なる部分として、同1項は「**出席会員**の3分の2以上」が要件となっているのに対し、2項は「**正会員総数**の3分の2以上」という要件になっている。基準が異なっているが、現実的に正会員総数の3分の2以上が総会に出席することは可能性として低く、「正会員総数の3分の2以上」の規程があるのは、その他では学会会則第32条の2の「解散」のみであることから考えても、除名処分については「**出席会員**の3分の2以上」を要件とするのが妥当であると考える。

今次の改正においては、第9条1項の当該部分は削除し、同2項の冒頭に「前項の懲戒規定にしたがって」との文言を追記し、要件として「**出席正会員**の3分の2以上」（「出席**正**会員」との表現は第32条にもあるため同期させる）との規定に改める。また形式的な修正として、「3分の2以上の決議」を「3分の2以上の賛成による決議」に、「当該会員」を「懲

第1号議案

戒対象の当該会員」に改める。

改正前

第9条（懲戒）

1 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、理事会の決議によって、当該会員を懲戒することができる。ただし、除名する場合は、理事会の決議に加え、総会において出席会員の3分の2以上の決議がなければならない。また、当該会員に対し、総会で決議する前に弁明の機会を与えなければならない。

（1）法令又は本会則若しくは本会の定める規則等に違反したとき。

（2）本会の名誉又は信用を傷つけ、又は目的に反する行為をするなど、会員としての品位を損なう行為をしたとき。

（3）その他懲戒すべき正当な事由があるとき。

2 会員を除名する場合は、理事会の決議に加え、総会において正会員総数の3分の2以上の決議がなければならない。また、当該会員に対し、総会で決議する前に弁明の機会を与えなければならない。

改正後

第9条（懲戒）

1 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、理事会の決議によって、当該会員を懲戒することができる。~~ただし、除名する場合は、理事会の決議に加え、総会において出席会員の3分の2以上の決議がなければならない。また、当該会員に対し、総会で決議する前に弁明の機会を与えなければならない。~~（取り消し線がある部分を削除）

（1）法令又は本会則若しくは本会の定める規則等に違反したとき。

（2）本会の名誉又は信用を傷つけ、又は目的に反する行為をするなど、会員としての品位を損なう行為をしたとき。

（3）その他懲戒すべき正当な事由があるとき。

2 ~~前項の懲戒規定にしたがって~~会員を除名する場合は、理事会の決議に加え、総会において~~出席正会員の3分の2以上の賛成による~~決議がなければならない。また、~~懲戒対象の~~当該会員に対し、総会で決議する前に弁明の機会を与えなければならない。

以 上